

摂南大学で大地震想定の実働型研修を実施しました！

日時：2015年8月31日（月）（10：00～17：00）
2015年9月 1日（火）（10：00～17：00）

場所：摂南大学 寝屋川キャンパス

参加者：教職員（68名）

ファシリテータ：建築学科学生12名＋大学院生1名＋教員1名
ボランティアスタッフズの学生39名（計53名）

今回の見どころ

摂南大学では2013年度から教職員や学生が参加する災害時の図上訓練を実施してきました。今回は本学で初めて大地震発生を想定した2日間の実働型災害研修を実施しました。まず1日目は、参加者全員で摂南大学の図面を用いて図上訓練を行い、避難者の配置を考えました。また、1日目にはメインとなる2日目の実働型訓練の練習として、一部の校舎を使い実際にトランシーバーを用いて災害時を体験してもらいました。その後、各班で翌日に備えた準備を行ってもらいました。2日目は、ボラスタ学生が登場して、本番です。この訓練では、よりリアルに大地震を感じ対応していくことが重要です。

プログラム実施風景



1日目の図上訓練では、互いに意見をぶつけあい、避難者の配置を決定！



2日目実働研修実施前！ムラージュ（偽装の傷口）をして、さあ、始めます！



教室に倒れている学生を救出！急いで救護所に運ばなければ！



初期消火班が火事を発見！近くにあった消火器で消火中！



救護所に次々と傷病者が！病院への搬送手段もなく、破たんしました。



最後の報告会では、各班の活動内容を発表しあい、情報を共有しました。

プログラム実施結果

大学で初めて行われた実働型訓練でしたが、当然、私たちにとっても、初めての实働型訓練運営となりました。何回もリハーサルを行いましたが、本番は、突然、救護所の場所が変わる、急に立入禁止場所が増えるなど、たくさんのアクシデントが起きました。瞬時の対応の大事さ、また、事前準備がいかに重要かなど、とても多くのことを学びました。ただ、正直、「しんどかった……」です。



参加していただいた摂南大学の教職員の皆さま、ご協力いただいたボランティアスタッフズ皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。